

二〇一七番

恋こひしくは 日けなが長きものを 今いまだにも ともしむ  
べしや 逢あふべき夜よだに

二〇一八番

天あまの川がは 去こぞ年の渡わたりで 移うつろへば 川かはせ瀬せを踏ふむに  
夜よぞふけにける

二〇一九番

古いにしへゆ 上あげてし服はたも 顧かへりみず 天あまの川かはう津つに 年とし  
ぞ経へにける